

大島商船高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	コミュニケーション
科目基礎情報					
科目番号	0187		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	商船学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	機関コースにおけるコミュニケーションの教材を使用				
担当教員	薬師寺 紗織, 岩崎 寛希, 久保田 崇, 木村 安宏, 前畑 航平, 森脇 千春, 村田 光明, 中村 泰裕, 浦田 数馬				
到達目標					
1. 簡単な機能表現を用いて、英語で自分の意思を伝えることができる。 2. IMO SMCPを用いて、簡単な情報交換ができる。 3. 自分の意見を、パラグラフ形式で論理的に記述することができる。 4. 与えられたテーマに関して、5パラグラフ程度のエッセイを書くことができる。 5. 英語によるプレゼンテーションができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	簡単な機能表現を用いて、英語で自分の意思を伝えることができる	簡単な機能表現を用いて、英語で自分の意思を伝えることがほぼできる	簡単な機能表現を用いて、英語で自分の意思を伝えることができない		
評価項目2	IMO SMCPを用いて、簡単な情報交換ができる	IMO SMCPを用いて、簡単な情報交換がほぼできる	IMO SMCPを用いて、簡単な情報交換ができない		
評価項目3	自分の意見を、パラグラフ形式で論理的に記述することができる	自分の意見を、パラグラフ形式で論理的に記述することがほぼできる	自分の意見を、パラグラフ形式で論理的に記述することができない		
評価項目4	与えられたテーマに関して、5パラグラフ程度のエッセイを書くことができる	与えられたテーマに関して、5パラグラフ程度のエッセイを書くことができる	与えられたテーマに関して、5パラグラフ程度のエッセイを書くことができない		
評価項目5	英語によるプレゼンテーションができる	英語によるプレゼンテーションがほぼできる	英語によるプレゼンテーションができない		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	自分の意見や情報を相手に的確に伝えるための、簡潔で論理的な英語コミュニケーションの手法について学ぶとともに、ライティングおよびスピーキング演習を通じて実践的英語コミュニケーション力の向上を図る。				
授業の進め方・方法	授業は講義形式ではなく、ペアワーク、英文ライティング、口頭発表などが中心となる。ペアワークでは、物事を説明する、自分の情報を伝える、または相手の情報を聞き出すためのコミュニケーション演習を行う。英文ライティングでは、パラグラフライティングの基礎を学び、テーマ別のライティング演習を行う。口頭発表では英語プレゼンテーションの準備および実施要領を学ぶ。				
注意点	配布教材および英語辞書の持参を受講条件とする。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Speech	与えられたテーマについて英語によるスピーチができる	
		2週	Speech	与えられたテーマについて英語によるスピーチができる	
		3週	Functional expressions	状況に応じて適切な表現を用いた会話ができる	
		4週	Functional expressions	状況に応じて適切な表現を用いた会話ができる	
		5週	Functional expressions	状況に応じて適切な表現を用いた会話ができる	
		6週	SMCP general	IMO SMCPの概要が理解できる	
		7週	SMCP practice	IMO SMCPを用いた情報交換ができる	
		8週	前期中間とりまとめ	今までの内容について理解できる	
	2ndQ	9週	Paragraph writing	英文パラグラフの構成が理解できる	
		10週	Paragraph writing	英文パラグラフの論理性が理解できる	
		11週	One paragraph essay	自分の意見を1パラグラフのエッセイ形式で表現できる	
		12週	One paragraph essay for speaking	エッセイを発音に注意しながら音読することができる	
		13週	One paragraph essay for self-introduction	エッセイを効果的な自己紹介に発展させることができる	
		14週	One paragraph essay for self-introduction	エッセイを効果的な自己紹介に発展させることができる	
		15週	One paragraph essay for conversation	エッセイを効果的な会話に発展させることができる	
		16週			
後期	3rdQ	1週	Presentation	英語プレゼンテーションの構成について理解できる	
		2週	Presentation	効果的英語プレゼンテーションの論理展開について理解できる	
		3週	Presentation	プレゼンテーションにおけるvisual aidの活用について理解できる	
		4週	Presentation	効果的な英語プレゼンテーションができる	
		5週	Presentation	効果的な英語プレゼンテーションができる	

4thQ	6週	後期中間とりまとめ	今までの内容について理解できる
	7週	コミュニケーション演習（企画プレゼン①）	対象を決めたイベントの効果的な企画方法について理解できる
	8週	コミュニケーション演習（口述試験対策等①）	海技士口述試験への心構えや事前準備について理解できる
	9週	コミュニケーション演習（海難事故事例調査）	実際の海難事故事例に関するの討論ができる
	10週	コミュニケーション演習（ビジネスメールについて）	英文を含む社外へのメールの基本的なマナーおよび実例について理解できる
	11週	コミュニケーション演習（BRMの実態①）	ロープワーク等現場作業で英語が活用できる
	12週	コミュニケーション演習（船上と陸上の情報伝達）	船上と陸上の情報伝達に欠かせない、船上の情報システムについて情報セキュリティを遵守した上で利用できる
	13週	コミュニケーション演習（企画プレゼン②）	企画したイベントについて効果的なプレゼンテーション資料を作ることができる
	14週	コミュニケーション演習（口述試験対策等②）	海技士口述試験の対策法やスケジュール配分について理解できる
	15週	コミュニケーション演習（BRMの実態②）	ヒヤリハットから現場作業における英語が活用できる
	16週	後期授業の取りまとめ	今までの内容について理解できる

評価割合

	ライティング	口頭発表	試験	出席状況	合計
総合評価割合	40	40	0	20	100
基礎的能力	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	40	40	0	20	100